



50th
ankts

Handsome

Winter 2024 No.415

卷頭
記事

親睦事業開催 親睦事業を終えて

11月オープン例会開催 11月例会を終えて／OB会員交流会開催
第76回全国大会福井大会に参加／卒会後の風景／百練清鋼
卒会予定者より／第50期中央会発信委員会企画“言葉を学ぼう”
新入会員紹介／編集後記

◆発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 永井 拓未 ◆編集責任者:担当副会長 高岩 雄一 ◆制作・編集:第50期中央会発信委員会 委員長 新井 翔太

親睦事業開催

～語り合おう～



～語り合おう～



東部 藤原会長



中部 古川会長



親睦事業を終えて

令和6年10月17日、県の親睦・情報委員会担当により、東部・中部・西部の中央会員が一堂に会する鳥取県中小企業青年中央会 親睦事業がエースパック未来中心で開催された。

冒頭の足立県会長挨拶では、「通常県の秋の親睦事業ではバーベキューや運動会など親睦をメインとした事業が行われていましたが、今回は各地区の10月例会を兼ねるということで、学びの場としてディベート討論会を開催することとなりました。自分の意見をぶつけることを経験し、各自研鑽に努めていただきたい。」と述べられた。

次に、鳥取県中小企業団体中央会 上根様より、団体中央会の説明がなされた後、各地区的会長から、各地区の特色等をお話しいただいた。

東部の藤原会長からは、今期の東部の活動テーマ「Colors ～個性を磨け～」について、「人手不足について鳥取県は世界の最先端です。生き残るために「個性」がカギになると思いこのテーマにした」とお話しいただいた。

中部の古川会長からは、今期の活動テーマ「風-心に絆を、背中に翼を-」について「50周年という節目の年に旋風を巻き起こしていきたい」とお気持ちを述べられた。

西部の永井会長からは、西部の活動である全日本トライアスロン皆生大会への貢献、今年5月に行われた50周年記念イベントである米子ドリームランタンナイト、そして、今期で10周年となる大山お地蔵さまフェスティバルについて触れられ、「自分たちだけでなく地域も巻き込んで力を合わせてやっていきたい」とお話しいただいた。

本事業の内容となるディベートでは「語り合おう、これからの中会」として、5つのテーマについて肯定、否定のチームに分かれてそれぞれ意見を出し合って固め、相手方と討論した。

5つのテーマは地区を問わず青年中央会が直面している諸問題である①「会員拡大は数が大事!」②「会員負担軽減のため事業数を減らす!」③「懇親会は必要!」④「会費を上げる!」⑤「当会、東・中・西を統合する!」についてであり、地区を超えて全会員が真剣に考え、意見を出し合い、ぶつけ合い、大変白熱した議論が展開され、肯定、否定の立場から検討する良い機会となった。

また普段交流を深める機会の少ない他地区の会員と全力で意見を出し合う中で、親睦を深める良い機会となり、大変意義のある事業となった。

最後に古川県副会長から総評があり、本事業は盛り上がりの中閉幕となった。(記事: 小原)



県出向理事 徳中 太慈 (株式会社大連 代表取締役)

この度の県中央会の親睦事業は各地区的例会ということもあり、県委員会メンバーと多くの時間を使って議論を重ね、試行錯誤を繰り返して準備を進めました。当日は各地区から多くの会員の皆様にご参加いただき大盛り上がった事業になったと感じております。今期50期を迎える当会がこの度の事業をきっかけに、地区の垣根を超えて団結し、更に発展することが出来れば嬉しいです。ご参加いただいた皆様、また最後の最後まで事業参加へのお声掛けにご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

11月オープン例会開催



令和6年11月15日（金）、ANAクラウンプラザホテル米子「飛鳥の間」において、11月例会が開催されました。本例会はオープン形式で行われ、会員所属企業の方や関係団体、入会を検討中の方など、多くの一般参加者が集いました。

冒頭では、政治行政委員会の高田委員長による「委員長タイム」が行われ、当会の活動内容や、高田委員長が所属する有限会社高田の事業内容について紹介がなされました。

本例会では「人が企業の価値を高める成長戦略」をテーマに掲げ、第一部では、ビジネス経営委員会の谷村会員が「人の価値を高める人的資本経営」について講義を行い、続く第二部では、人気YouTubeチャンネル「令和の虎」で注目を集める小澤辰矢氏が「365日応募が絶えない会社の創り方」と題して講演しました。自身の壮絶な生い立ちや成功・苦難の経験、そして未来へのビジョンを熱く語り、聴衆を魅了しました。

第三部では、小澤氏を交えた異業種交流会が行われ、参加者同士の活発な交流や質疑応答で大いに盛り上りました。

多彩なプログラムを通じて「学び」と「交流」を深める機会となった本例会は、多くの参加者にとって非常に有意義なものとなりました。
(記事:大江)



11月例会を終えて

ビジネス経営委員会委員長 田本 真大 (山陰酸素工業株式会社 米子支店LPガス直売課 課長)

11月例会は、「人」にフォーカスしたオープン例会として開催し、156名という多くの方にご来場いただきました。講師の小澤会長はYouTubeでも有名な方ですが、著書も拝見して「人」に関して人一倍想い入れの強い方だとわかりました。講演も素直に心に刺さる内容で、参加者の方からは好評の声を多数いただきました。一丸となり創り上げていただいた頼もしい委員会メンバー、そして動員に尽力いただきました現役会員、ご来場いただきましたOBの皆様、関わっていただいたすべての「人」に感謝の気持ちでいっぱいです。

OB会員交流会(新OB会員認証式及び歓迎会)開催



さる10月11日、バンケットシュシュにてOB会員交流会が開催されました。当日は小谷新OB、宇佐見新OB、景山新OBの3名を含め、総勢31名での交流会となりました。メインイベントとなる新OB会員認証式では、少し緊張した面持ちでの新OBの皆さんスピーチの後、無事に49期ご卒会の5名の方々全員が新OBとしてご承認されました。交流会は福田一哉OB会長のご挨拶と12期ご卒会の足立統一郎OBの乾杯のご発声で始まり、終始なごやかな雰囲気で行われました。最後は19期ご卒会の宇佐見明OBの新店オープンのご報告も交えながら、13期ご卒会の杉原弘一郎OBの中締めにてお開きとなりました。

50周年を迎えた長い歴史の中で、OB会員として立場が変わっても続く仲間としての関係を築かれた先輩の皆さまを見て、青年中央会の活動を全力で取り組むことの大変さを改めて実感した交流会でした。

政治行政委員会副会長 安達 信彦 (株式会社 平設計 設計課長)

第76回中小企業団体全国大会 福井大会に参加しました

県出席理事 下村 英一 《山陰建設サービス株式会社 課長》

令和6年10月24日(木)、第76回中小企業団体全国大会が福井県福井市で開催され、西部からは足立県会長をはじめ8名が参加して参りました。『つながる ひろげる 連携の架け橋 ~幸せ紡ぎ 新しい未来へ~』の大会テーマのもと、中小企業が抱える様々な課題の解決に向けて一層の連携と支援を拡充するべく様々な議案が採択されました。

大会後は東部・中部の会員と懇親を深めながら福井の夜を満喫し、各々が思い出に後ろ髪を引かれながらも帰路につきました。第77回大会は広島県で開催されますので参加されたことがない方も是非参加してください。



特集

卒会後の風景

卒会されて数年後のOBに、卒会後の環境や心境の変化をお聞きして紹介するコーナーです！さあ…あのOBは今？

第47期卒会 萩本 満梨子OB 《ジェムズ・プレイン 代表》

Q. 卒会されてもう2年が経ちました。トライアスロンのボラ部では大変お世話になっているので、私たちにとってはまだOBという感覚はありませんでしたが、この2年、生活やお仕事に変化はありましたか？

A. 基本子ども優先ですが、子どもも小学校に入学し少し落ち着いたので、会に在籍していた時よりも仕事の時間は多くなりました。また家族との時間もたくさん持てています。現在は広告代理店から独立して、個人で広告や企業のPRのお手伝いをしています。最近では仕事の内容が紙媒体やマスメディアからWEB広告やSNS広告などに大幅に変わりました。

Q. 会歴がとても長かったので難しいかもしれないですが、中央会での一番の思い出は何ですか？

A. 27歳から入会しましたが、途中退会したり、育休に入ったりで、2度ほど休んだ経験があるので、実働していたのは15年ほどだと思います。長い間に色々な事を経験させていただいたので、一番の思い出というは本当に難しいですが、副委員長の時に委員会メンバーなど総勢12名程度で卒会旅行にタイに行つたことでしょうか。

Q. 今、10歳若返ったら（笑）中央会に入会されますか？

A. 今度はもっとソフトな会に入りたい。ww

Q. 現役会員にむけてメッセージをお願いします。

A. 50周年事業の準備は相当大変だったと思います。ドリームランタンナイトでは、あれだけたくさんの方々が山陰両県から集まり、OBもたくさん参加されていて。ランタンが綺麗に上がった時の歓声は何にも代えがたく、とても感動しました。



特集

百鍛清綱

百鍛成鋼いくたびも心身を鍛錬することによって、はじめて立派な人物になるということ。会員が今まで百鍛していることを紹介します。

政治行政委員会 清水 伸也(清水行政書士事務所 代表)



皆様こんばんは。最近は業務の都合上、夜に仕事をすることが多く、中央会活動への出席が難しい状況になっており大変申し訳ございません。

さて、最近ですが、健康に対して考えを改めるきっかけがありました。そこで、まずはやや肥満気味だった体重を落とすことに決めました。皆様BMIという言葉を聞いたことがあると思います。この数字が22だと健康的らしいのでこれを第一の目標に設定しました。私の体重はこの一年内で最大で77kg程度になった覚えがあり、その時のBMIを計算すると26を超えていました。食生活の改善(高たんぱく、低脂質の食材を中心に摂取)と運動習慣(自重筋トレ、有酸素運動)、体重を毎日同じ時間帯に記録すること始めました。その結果、8月頃から徐々に体重が落ち始め、現在は22.4(66.4kg程度)まで落とすことができました。目標まであと少しとなりました。目標達成後は筋肉量も体重に合わせて落ちているはずなので、もう少し負荷の掛かるトレーニングを行い、少しづつ筋肉量を増やし、健康的な身体を目指したいと思います。中央会活動に参加できなくとも、自己研鑽(体重管理)に努め、清新浣剤に仕事を続けられるよう励んでいますので、これからも温かい目で見守ってくださいね。最後に体重管理は自分との闘いです。自分に負けるな！



卒会予定者より『流刺と未来へ』



第6回太山お地蔵さまフェスティバルで米子がいな太鼓を披露

入会当初を振り返ると、正直、訳もわからないまま会社のOBから半ば強引に入会を勧められ、「何も聞いてないんだけど?」と戸惑ったのを覚えています。その後、訳もわからず出席した委員会では、なぜか委員会が熱く荒れ、そっと帰ろうかと思うほど後悔したのを鮮明に覚えています(笑)。ですが、今思えばあれも懐かしい思い出です。

また、同期では最年長として入会し、気がつけば一番に卒会を迎える立場にあることにも少々感慨を覚えます。しかし、入会してすぐにコロナ禍がやってきて、実質フルで活動できたのは3年程度。ZOOM例会が続くなか、会員の皆さんと顔を合わせる機会が少なかったのは残念でした。それでも、私生活の事情で懇親会にもなかなか参加できない中、皆さんが温かく接してくださったことには本当に感謝しています。こうして無事卒会を迎えるのも、諸先輩方や会員の皆様のおかげです。残りの時間も最後まで頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします!



第49期敬愛委員会卒会旅行

令和2年7月入会 伊澤 佑矢 (米子信用金庫 審査管理部次長)



第50期中央会発信委員会企画 “言葉を学ぼう”

中央会発信委員会では魅力的な発信を行う為、個々のスキルアップがプランディングにも繋がると考え、言葉やSNSの見せ方など幅広く学ぶために、日々交替で講師になって学んでいます。(委員長 新井 翔太)

“適度な運動の効果”

山口 維啓

- ①骨が丈夫になる。
運動すると骨に力が加わり丈夫になる。
- ②関節や筋肉が柔らかくなる
人の体は動かしてないとだんだん固くなるようにできている。
- ③筋肉が強くなり、疲れにくくなる
力が強くなると同じ作業も相対的に楽になり、疲れにくくなる。
- ④心肺系が強くなり、疲れにくくなる
運動をすると肺で酸素を取り入れる効率が高くなる。
- ⑤血液が綺麗になる
善玉コレステロールが増え悪玉コレステロールが減る。
- ⑥瘦せる、見た目も若返る
プロポーションも改善されスタイルが良くなり、見た目も若返る。
- ⑦脳を活性化する
脳に刺激を与えると、認知症を予防・改善する効果が期待される。
- ⑧抵抗力がつく
免疫機能が高まり、病気に対する抵抗力が増す。
- ⑨痛みが緩和する
運動をすると、肩こり、腰痛、膝等の関節の痛みが緩和する。
- ⑩気持ちが元気になる、若返る
・ストレス発散、リラックス、不安感や疲労感の減少、など気持ちが元気に若返り、生活を元気に充実させる。



“身近な病気 がん治療”

狩野 智邦

「言葉を学ぼう」のテーマは、私がいつもお客様へお伝えしている情報を「がん」という病気をテーマに掘り下げます。がんの治療においては日本癌治療学会と各専門学会によって作成された「診療ガイドライン」によって手術・抗がん剤治療・放射線治療を用いた標準治療が行われています。お医者さん目線では当然、標準治療を行う事が望ましいですが、診療ガイドラインに載っていない=健康保険が適用できない「自由診療治療」(症例数少数、新しい治療など)や一部健康保険が適用できる「先進医療」などの話を聞いてみたいという患者目線との乖離があります。患者自身が納得できるがん治療を受けるためのポイントは2つ【情報】と【お金】です。①先述した各種治療方法が“どこで、どのように受けることができるのか”という情報を得る事。②治療資金として「高額療養費」「傷病手当金」などの公的保障を活用しても治療に伴って発生する、各々の収入によって個人差がある「収入減少」と「治療費の自己負担額」を把握し、その不足額をどのように確保するのかという事です。死亡原因第1位のがんに罹患されたときのために【情報網】【自由に使える資金】の用意をお勧めします。



皆川 勝彦

A型

大樹生命保険株式会社 米子営業部長
生命保険業
〒 683-0802 鳥取県米子市東福原1-1-22 米子ウェストビル4階
TEL : 0859-34-2518 FAX : 0859-23-0484
R06.09(R06年度)入会 (推薦者)高岩(雄)
(KT) 090-8724-7823 (EM) Katsuhiko_Minagawa@taijyu-life.co.jp
S60.4 生

（コメント）10月より入会しました皆川と申します。米子市には転勤で来たばかりで、まだまだ分からぬことがあります。先輩方から色々なことを教えていただき、地域貢献を果たしていきたいと考えています。

新入会員紹介



門脇 大志

A型

株式会社 SETAKEN 専務取締役
足場・外壁洗浄
〒 683-0252 鳥取県青木 220-1
TEL : 0859-21-7892 FAX : 0859-21-7893
R06.09(R06年度)入会 (推薦者)長谷川(恵)
(EM) ambitious_t1997@icloud.com
H9.4 生

（コメント）足場施工、外壁洗浄業等を行っている、株式会社 SETAKEN の門脇大志と申します。中央会を通して学んだことを会社や地域の皆様に貢献できるよう精進してまいります。よろしくお願い致します。

編集後記

第50期が始まり早くも5ヶ月が経過しました。正副委員長を中心に精力的な活動で各委員会も特色が出てきて楽し^く活動をされています。例会も10月県親睦会と11月オープン例会も大成功で会全体の勢いを感じます。12月、1月は忘年会や新年会と一人でも多くの会員に参加をしてもらい会員のためになる活動を期待しています。〈中村 友紀〉